

「夏休みの思い出」

長嶋 珠良くん



ぼくが一番楽しかった事は、お父さんと二人だけで海へ旅に行った事です。予定も何も立てずにふらふらと出かけました。朝の5時ごろ家を出たので、ぼくは車の中でねむってしまいました。7時30分ごろ目を覚ますと、外にはもう海が広がっていました。お父さんに「今どこを走ってるの。」と聞くと、「江ノ島の近くだよ。」と言いました。ぼ

くが二年生の時に行った伊豆に行きたいと言うと、お父さんはオッケーと言って伊豆の下田に向かって走り出しました。ずつと海を見ながら走ってお昼ごろに下田に着きました。

着くとすぐに、観光事む所という所に行きました。おじいさんが出てきてお父さんと話をしていました。しばらくして、おじいさんがぼくをよんで「どんな所にとまりたいの。」と聞きましました。ぼくは、「広くて大きくて、ろてん風呂がある所がいい。」と言いました。すると、おじいさんはいろいろなホテルに電話をしてさがしてくれました。ホテルが見つかってひと休みしていると、お父さんが、「まだ時間があるから、海で遊ぼう。」と言いました。ぼくは、よろこんで二人で海へ行きました。貝がらをひろったり、ウニやカニをとったり、3時すぎまで遊んでホテルに行きました。大きなホテルで、ぼくたちの部屋は、7階の海が見えるとてもきれいな部屋でした。夕食の前に風呂へ行って、ろてん風呂で泳ぎました。とても気持ちよかったです。夕食は、おさしみや金目だいのしゃぶしゃぶで、食べきれないほどでした。旅の一日目はこれで終わりです。いろいろ楽しかったです。

(評) お父さんと二人で行った旅行の様子が、詳しく書けました。



小五 井深 真鈴 (評) 文字の組立てに気をつけて正しく書けました。はらいが上手ですね。

井深 真鈴さん



小四 山中くるみ (評) 「はらい」がいきおい良くとても上手に書けています。

山中くるみさん

「みんなであそんでたのしいな」

長谷川 南さん

(評) 石ひろいを楽しんだ様子が画面いっぱい表現できました。

「思い出の校舎」

深沢 誠矢くん

(本人のコメント) 皆中の今の校舎は、もう取り壊されてしまうので、しっかり記憶に残るようにと描きました。風景画は苦手なのですが、先生に教わりながら描いたら、自分でもびっくりするような作品ができたのでよかったです。

